

第3回 LiHubフォーラム：ゲノムがつなげる近未来社会

2017年11月17日（金）12:30受付開始

@東工大大岡山キャンパス・デジタル多目的ホール（当日、東急大岡山駅に案内が立ちます）

東京工業大学の生命理工学院は、生命科学と生命工学を広くカバーしている学術組織である利点を活かして、同分野の最先端と社会・産業とを橋渡しする協創の場「生命理工オープンイノベーションハブ（LiHub）」を設立しました。LiHubには、社会貢献度の高い分野テーマごとに複数の研究室が集結した11つのLiHubグループが立ち上がり、現在は特色を活かした産学連携を企画・展開中です。

今回の第3回LiHubフォーラムでは、LiHubグループ・ゲノムアーキテクトが幹事として、ゲノムアーキテクトの活動紹介、**ゲノム編集技術CRISPRを使った最先端の現場**や**ゲノム合成国際コンソーシアムGP-Writeの近況**といった**ゲノムサイエンスの世界動向**を紹介するだけでなく、**マーケティング**や**バイオアート**という思考フィルターを通して**ゲノムのポテンシャル**を予見する実験的企画を開催します。ノンバイオ業界の方々にとっても、**思いがけないヒント**を得る半日となるかもしれません。LiHubの多彩なアカデミア活動を活用したい皆様、ご参加をお待ちしております。

第1部 13:00-14:50

- ・開会の言葉
- ・LiHubグループの紹介（10グループ）

第2部 15:05-17:30

「ゲノムアーキテクトグループのMissions」

相澤康則（東工大生命理工学院・ゲノムアーキテクトグループ代表）

「ゲノム編集でできること、できないこと」

隅山健太氏（理化学研究所・高速ゲノム変異マウス作成ユニット・リーダー）

「巨大バイオ企業INTREXONを語るための3つのキーワード」

白川晃久氏（エディットフォース株式会社 共同創業者）

「ゲノムを、社会に対して、翻訳する」

志村彰洋氏（株式会社電通マーケティングクリエイティブセンター 主任研究員）

「バイオアートが育む創造性」

白鳥啓氏（株式会社マチルダ 代表）

（最後に、全講演者と聴衆とで総合討議）

第3部 17:40-19:00

LiHubグループ紹介ポスターセッション & 異業種交流会（ドリンクと軽食をご用意します）

【異業種交流会費：¥2,000（当日）】

【事前参加登録（11月10日まで）：<http://www1.bio.titech.ac.jp/lihub/>】

お問い合わせも、LiHub事務局（<http://www1.bio.titech.ac.jp/lihub/>）まで

協力：一般社団法人 蔵前工業会 株式会社みらい創造機構

